

会議の開催結果

1 会議名	新居浜駅周辺まちづくり協議会
2 開催日時	平成26年11月11日（火） 9時30分から11時10分まで
3 開催場所	新居浜ウイメンズプラザ（新居浜市立女性総合センター） 2階研修室（視聴覚室）
4 会議の概要	<p>新居浜駅周辺のまちづくりについて協議を行っていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新居浜駅南地区のまちづくり（土地利用と道路網）
5 公開（全部・部分）・非公開の別	公開（全部）
6 部分公開又は非公開の理由	
7 傍聴人数	1人
8 問い合わせ先	（担当課名）都市計画課 （電話）65-1270 （内線 2435）
9 その他	

第4回 新居浜駅周辺まちづくり協議会次第

日 時：平成26年11月11日（火） 午前9時30分から
場 所：新居浜ウイメンズプラザ 2階 研修室（視聴覚室）

部長あいさつ

開 会

- 1 前回のまとめ
- 2 地元の会の開催状況について
- 3 新居浜駅南地区のまちづくり（土地利用と道路網）

閉 会

新居浜駅周辺まちづくり協議会 委員

H26.11.11(第4回)

No.	区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	学識経験者	愛媛大学大学院	教授	吉井 稔雄	
2		新居浜工業高等専門学校	校長	鈴木 幸一	
3	関係事業者又は 団体の者	(一社)新居浜市医師会	会長	中山 恵二	
4		(一社)新居浜市観光協会	専務理事	鎌田 眞太郎	
5		四国旅客鉄道(株)	総合企画本部 担当部長	長戸 正二	
6		新居浜商工会議所	観光まちおこし 委員会委員長	妹尾 次郎	
7		新居浜市女性連合協議会	総務	佐々木 利美	(代理) 加藤 京子
8		(公社)新居浜青年会議所		嶋田 純也	
9		新居浜市農業委員会	農地部会長代理	篠原 修	
10		新居浜市農業協同組合	常務理事	曾我部 英敏	
11		新居浜市福祉施設協議会	副会長	住友 裕美	
12		松木坂井自治会		相原 悦滋	
13		新居浜市連合自治会	副会長	坂上 公三	
14	公募	市民公募委員1		多田羅 弘美	
15		市民公募委員2		白石 哲也	

新居浜駅周辺まちづくり協議会

第4回 資料

目 次

I. 前回のまとめ	1
II. 地元の会の状況について	2
III. 新居浜駅南地区のまちづくり	4

平成26年11月 11 日

I. 前回のまとめ（会議での意見）

（1）まちづくりの方向性について

①土地利用について

【賑わい】

- 人の動線を重視し、現在の南北自由通路を活かした賑わいづくりが必要である。そのためには、南北自由通路を中心に北側の賑わいゾーンと対面の位置に賑わいを大きく設定していることが必要である。
- A案の「賑わい」の設定は南北自由通路による南北の交流が十分できて良いのではないか。
- JR利用者より新居浜市や新居浜市周辺にお住まいの方の来訪が多いのではないか。
- 総合文化施設と一体となった常時賑わいを満たすような施設が必要である。
- 駅を降りたらすぐに「賑わい」施設があるのはメリットだと思う。
- 周ちゃん広場などの農産物販売所やいい雰囲気の出産地消レストラン、温泉施設があれば良いのではないか。
- D案のような「賑わい」が駅沿いにあったら良いと思う。

【文化・交流】

- この地域には現在、公園がない。防災面も含め、住民の一時避難場所としての公園が必要である。
- イベント広場をはじめ、フリーマーケット等ができるようなものが必要ではないか。
- 北側の総合文化施設とつながる形で「文化・交流」施設をつくるべきではないか。
- 南側の活性化としては、「賑わい」にあわせて「文化・交流」目的で広く設定するのが良いのではないか。

【生活】

- 幼稚園や保育所や病院が集まると、子どもや人の取り合いになる。また、新居浜市の生活スタイルは仕事場近くに子供を預けるので、「賑わい」のところにない方がよい。

②道路について

- （都）新居浜駅菊本線を延伸するアンダーパスは、車を通行するとすれば目的は何なのか。南北自由通路の完成により、人がどんどん往復すれば南北連携の目的は達成されるのではないか。
- 現在の南北をはしる道路の容量はピーク時間帯に渋滞が起こるという可能性は十分あるものの、現状としてはそんなに心配しなくてよい状況ではないか。
- （都）新居浜駅菊本線を延伸するアンダーパスがあるから南側へ来るのではない。
- 総合文化施設のある東側に跨線橋をつくることで歩行者の動線を満足するのではないか。
- 駅前踏切を改良することで、アンダーパスを通したことによる東西の分断がされずに済むのではないか。
- （都）新居浜駅菊本線を延伸するアンダーパスは、東西分断する区間が長いので、つくらない方が良いのではないか。

(2)その他

- 制約条件を明確にした上で具体の議論をすべきではないか。
- 貨物ヤードの取扱いをどうするのか。
- 整備した後の運営等も考慮すべきではないか。
- 地震等に対する防災の視点はないのか。
- 新幹線構想などの環境要因は可能な限り反映していくべきではないか。
- 地元のまちづくりへのコンセンサスを並行して進めていくべきではないか。
- 広範囲を所有しているJAに協力いただきながらまちづくりを検討すべき。
- 駐車場をどこに置くのが重要になってくるのではないか。
- そこに住んでいる生活を壊さない整備が良いのではないか。

Ⅱ. 地元の会の状況について

日時 平成 26 年 11 月 4 日 (火) 19:30～

議題：『道路問題について』

場所 松木・坂井自治会館

●議論の様子



●発表の様子

<1班>



<2班>



●意見結果

<1班>



<2班>



	1 班	2 班
駅裏中筋線について	<ul style="list-style-type: none"> ●アンダーパスで駅裏中筋線を新居浜駅港町線につないでほしい。 ●長田通り（駅裏中筋線）は既に商店街となっているので、これの為、長田通りを北へ延伸すべきだ。 ●長田通り（駅裏中筋線）をそのまま北へ抜くのはかえって不便となるのでは。駅裏から左折U字型で駅北へ抜いてはどうか。 ●（駅裏中筋線を）第2踏切へつなげるのもよいのでは。 ●南北U字工法（可能なら）新居浜駅菊本線と駅裏中筋線（をつなく） 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅裏中筋線を線路沿いにつなげる。 ●駅南側にも広い自転車道を別子につなげる。 ●もっと広い歩道を。 ●アンダーパス、オーバー ●人口の多い上部の人が乗降できる広場と道路。 ●線と新居浜駅菊本線をアンダーパスでつなぐべきだ。
新居浜駅前菊本線（延伸部）について	<ul style="list-style-type: none"> ●南地区街づくりを考えるならば菊本線を南へ延伸することも必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●下泉・松木の太鼓台を通れる道。 ●太鼓台を通せる道。 ●アンダー：文化施設西～下泉坂井町（下泉側）は住居少なく、道路計画しやすい。フリーハンド的にまちづくりの道路を。
県道国領高木線について	<ul style="list-style-type: none"> ●一本にこだわらずに数本。例えば国領高木線を広げて南へつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●（駅前郷線との交差点）道路改良。混雑している。 ●第1踏切をオーバーパスとする。太鼓台の通行も可とする。 ●貨物の踏切渋滞の解消。
庄内坂井線（延伸部）について	<ul style="list-style-type: none"> ●第2踏切の道路をアンダーパスにするのか、踏切を拡げるのか。 ●ここは幅が狭すぎる。下泉中村線まで拡幅すべきだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●庄内坂井線の開通。（自治会館前の改良）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●道路が抜けないなら、駅南を発展させるべき。 ●土地利用を考えながら道路を考えるべき。 ●東と西をどちらに集中的にするのか。 ●駅南の方が人口が多い。玄関口である。 ●農地が広がっているので、道路によっては良い開発ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●JRとの貨物協議：時間帯変更

Ⅲ. 新居浜駅南地区のまちづくり

(1) 土地利用のイメージ案

前回の協議会意見の中で、特に「賑わい」の土地利用意向が多かったことから、本地区の土地利用形成を重点的に図るべきと考え、4案のうちA案とD案に絞り込みました。

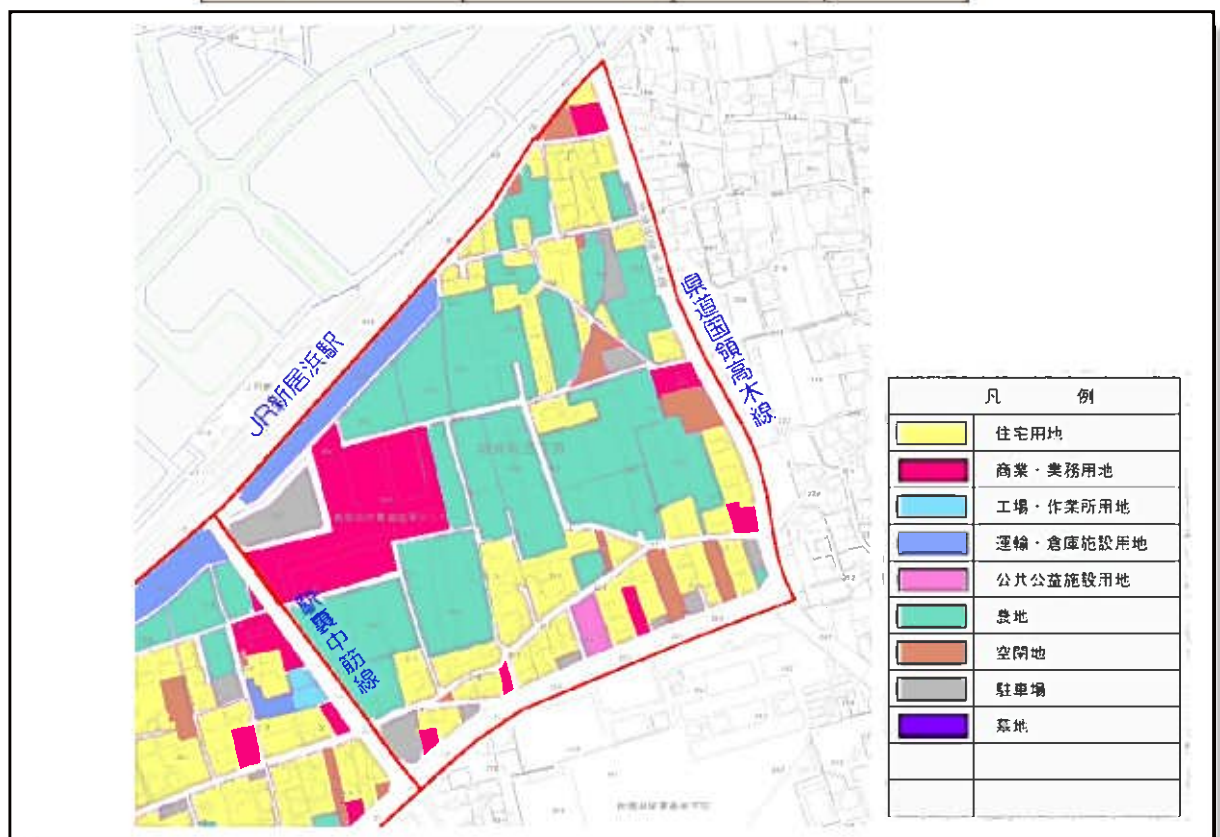
D案については、駅北側の総合文化会館との連携を図るべく、駅南側に新たに「文化・交流」を設定しました。

① 駅裏中筋線より東側土地利用現況について

駅裏中筋線より東側の土地利用現況は概ね以下のようになっています。

<土地利用現況（東地区）>

区分	面積 (ha)	割合 (%)	備考
住宅用地	2.7	22	
商業・業務用地	1.3	11	
運輸・倉庫施設用地	0.4	3	
公共公益施設用地	0.1	1	
農地	4.8	39	
空閑地	0.4	3	
駐車場	0.5	4	
宅地合計	10.2	83	
公共施設	2.1	17	
地区面積	12.3	100	



②土地利用のイメージ案のゾーン別面積について

土地利用のイメージ図A案、D案のゾーン別面積は、概ね以下のようになっています。
(駅裏中筋線より東側)

ゾーン名	A案	D案	備考
賑わい	2.3ha	2.0ha	
文化・交流	1.5ha	1.2ha	
生活	1.3ha	1.9ha	
住居系	1.7ha	1.4ha	

※ゾーンの概ねの面積となっています

③参考面積

土地利用イメージ図を検討するうえでの参考となる面積は、以下のようになっています。

○JAの用地

項目	面積 (ha)
JAの所有面積	1.0ha
農地の借地面積	1.5ha
合計	2.5ha

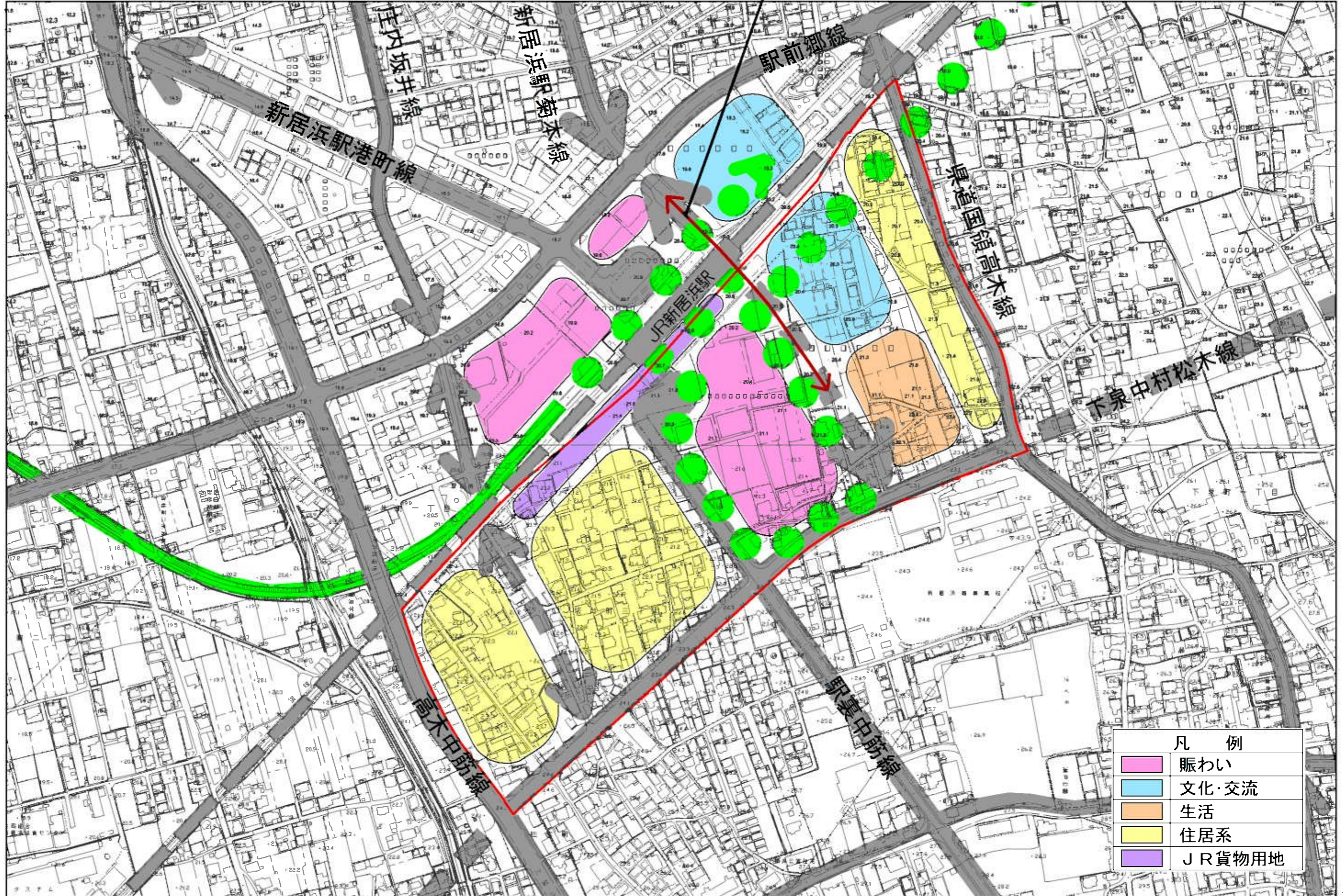
○公園面積

防災目的の公園 (近隣公園を想定) : 1.0~2.0ha
※近隣公園は面積2haを標準として配置することとある

■ A案

A案

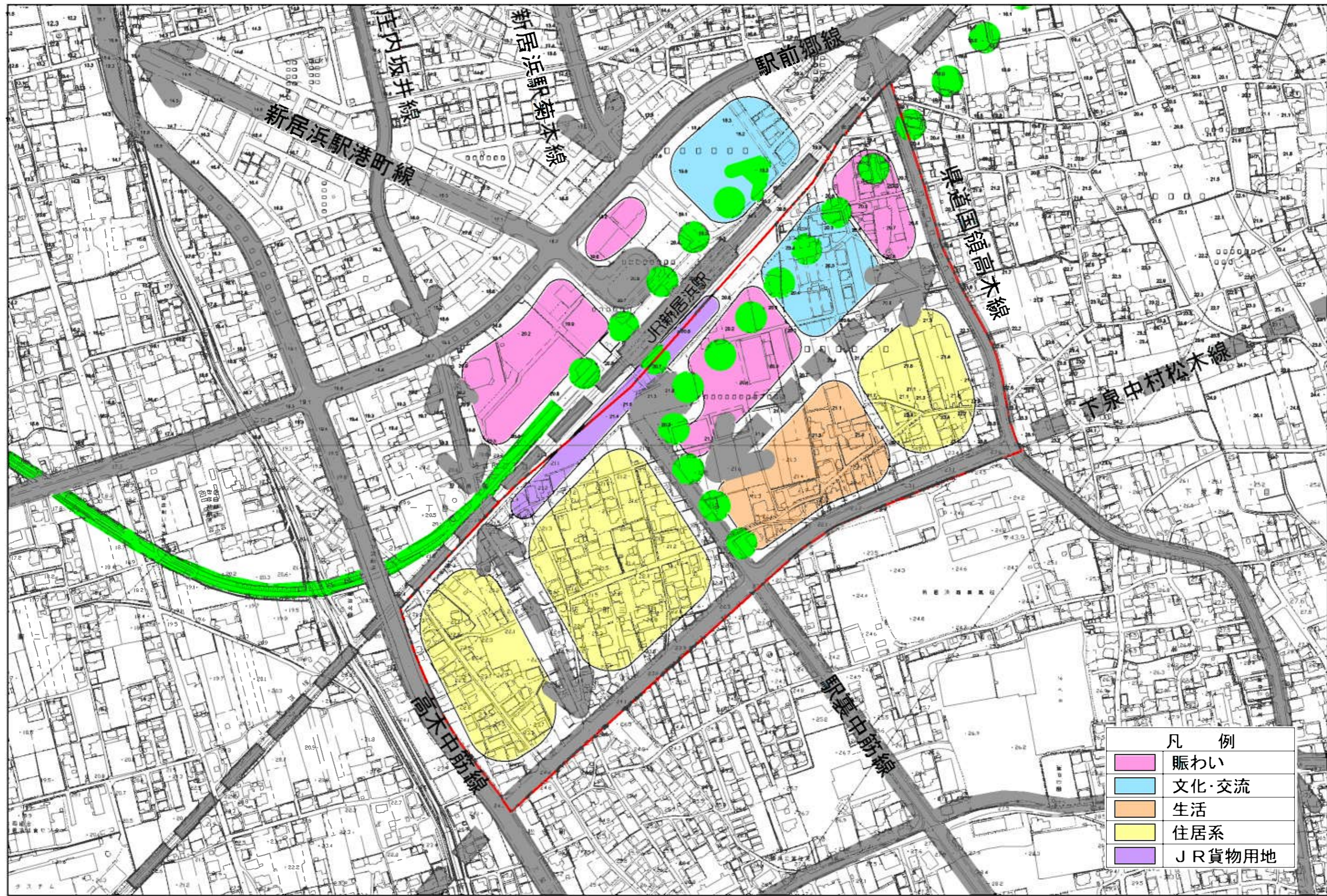
道路アンダーの構造になると考えられる区間



凡 例	
	賑わい
	文化・交流
	生活
	住居系
	JR貨物用地

D案(修正)

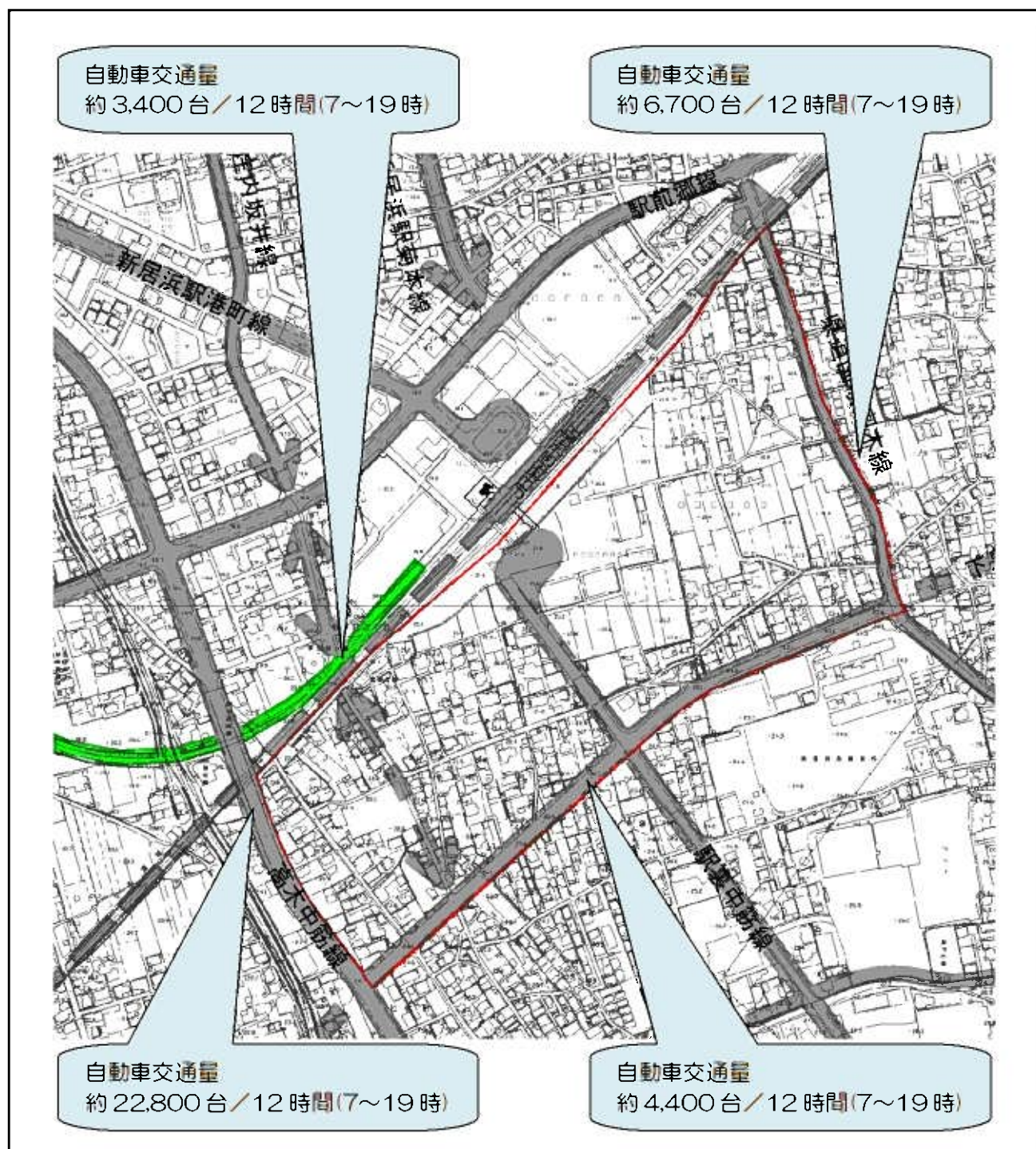
■D案(修正)



(2)南北軸について

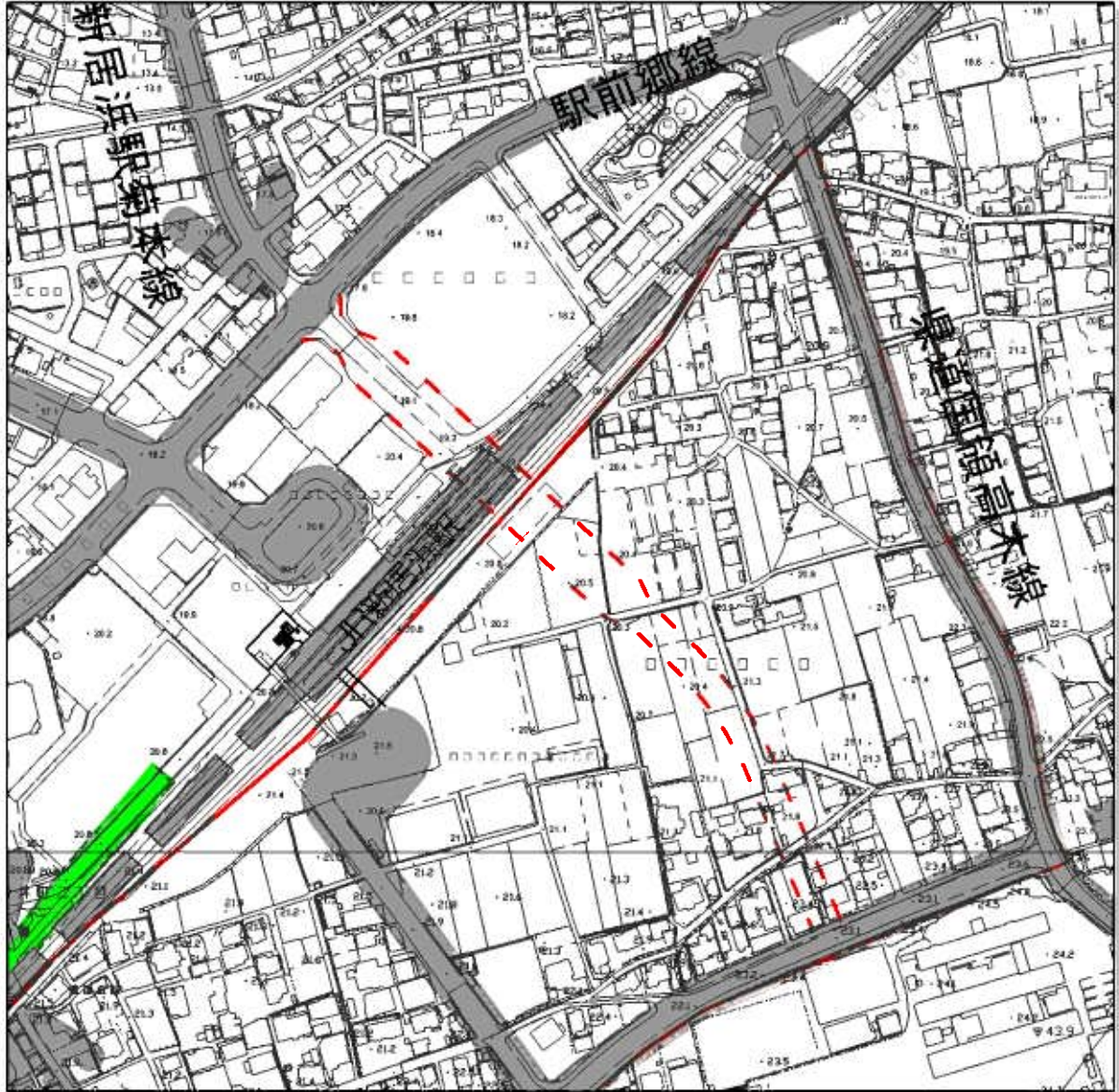
①現況交通量について

本地区周辺の幹線道路の現況交通量は以下のようになっています。

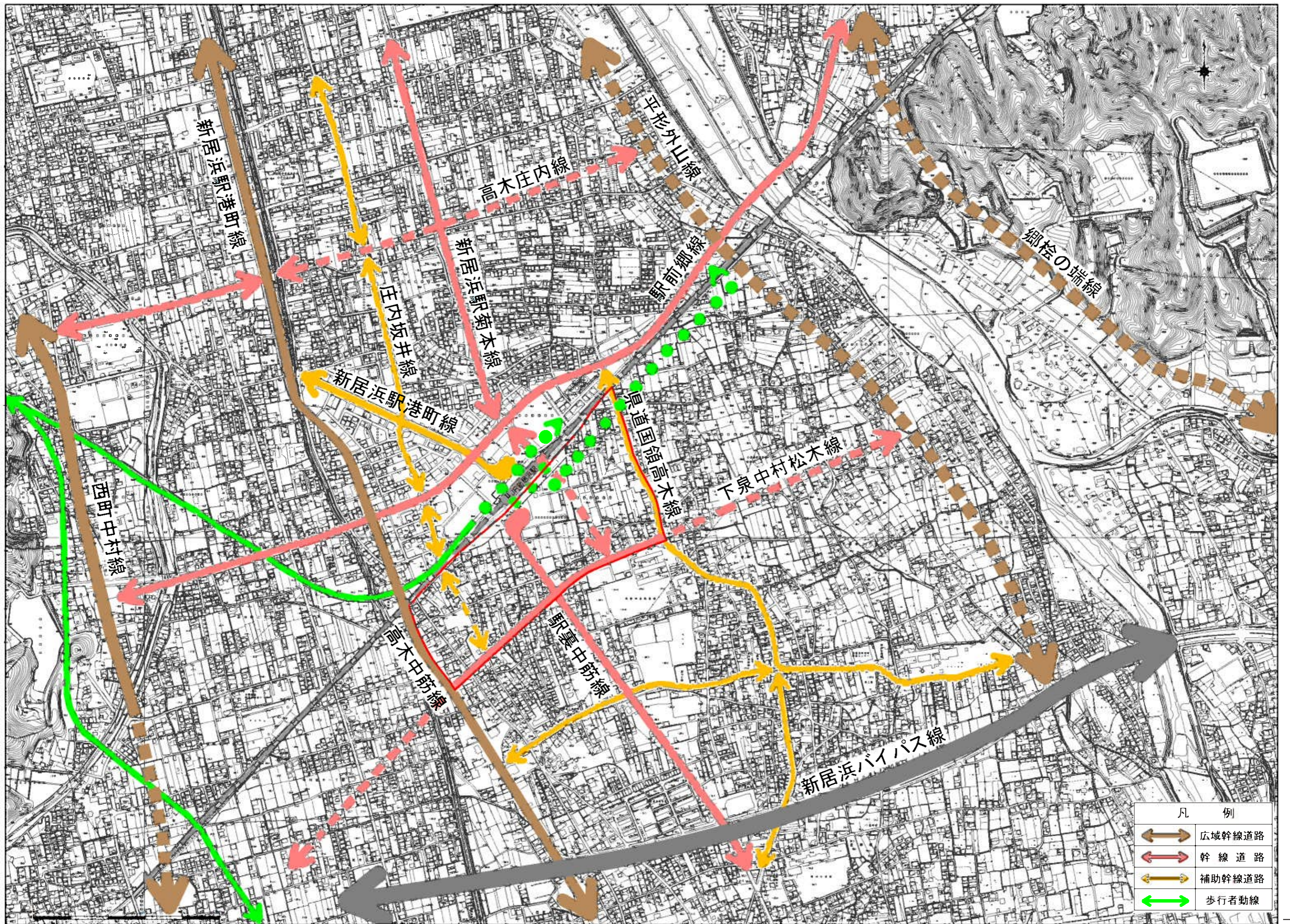


②新居浜駅菊本線の延伸部分について

新居浜駅菊本線の延伸について、延伸した場合の道路の概ねの分断イメージは以下のようになります。



※概ねの位置を示したものとなっています



凡 例	
	広域幹線道路
	幹線道路
	補助幹線道路
	歩行者動線